

この研修は、高次脳機能障害支援体制加算の要件となる研修ではありません

令和8年度 東京都心身障害者福祉センター 第2回高次脳機能障害者相談支援研修会のご案内

自分らしく生きることを支える 「切れ目のない支援」とは？

～ご本人たちの声から考える高次脳機能障害者支援法、
当事者だけのトークセッション～

日時

令和8年 **10** 月 **29** 日（木曜日）

午後1時20分から午後4時20分まで 受付開始：午後0時50分から

定員

300人（先着順）※先着順、定員になり次第締め切ります。

対象

東京都内で高次脳機能障害の相談・支援に関わる
医療・福祉・介護の職員等

会場

東京都社会福祉保健医療研修センター 1階 講堂
（東京メトロ丸の内線「茗荷谷」駅下車 徒歩約8分）

無料です



プログラム

1部 講演：「ご本人の声から考える地域リハビリテーションの役割」

— 高次脳機能障害者支援法の成立を踏まえて —

講師：医療法人社団平郁会 みんなの在宅クリニック板橋 院長

羽田 拓也 氏

医療から地域生活への移行における地域リハビリテーションの役割や、医療・介護・障害福祉との連携のポイントについて御講演いただきます。また、高次脳機能障害者支援法を踏まえ、地域での「切れ目のない支援」を実現するための支援者の役割と実践の方向性についてお話しいたします。

2部 トークセッション：自分らしく生きることを支える「切れ目のない支援」とは？

～ご本人たちの声から考える高次脳機能障害者支援法、
当事者だけのトークセッション～

登壇者：高次脳機能障害のある当事者

中央区立福祉センター

聖路加国際病院 リハビリテーション科

中央区交流会メンバー 4名

保健師 大島 千絵子 氏

作業療法士 阿部 幸太 氏

高次脳機能障害のあるご本人たちが、受傷・発症後の生活や支援の経験を語り合います。支援につながって助けられた経験や困難を感じた場面、高次脳機能障害者支援法への期待や課題などを共有しながら、地域で自分らしく暮らし続けるための「切れ目のない支援」について中央区の交流会メンバーが語ります。

【申込みについて】

申込期間：令和8年9月7日（月曜日）午前9時から10月7日（水曜日）午後5時まで

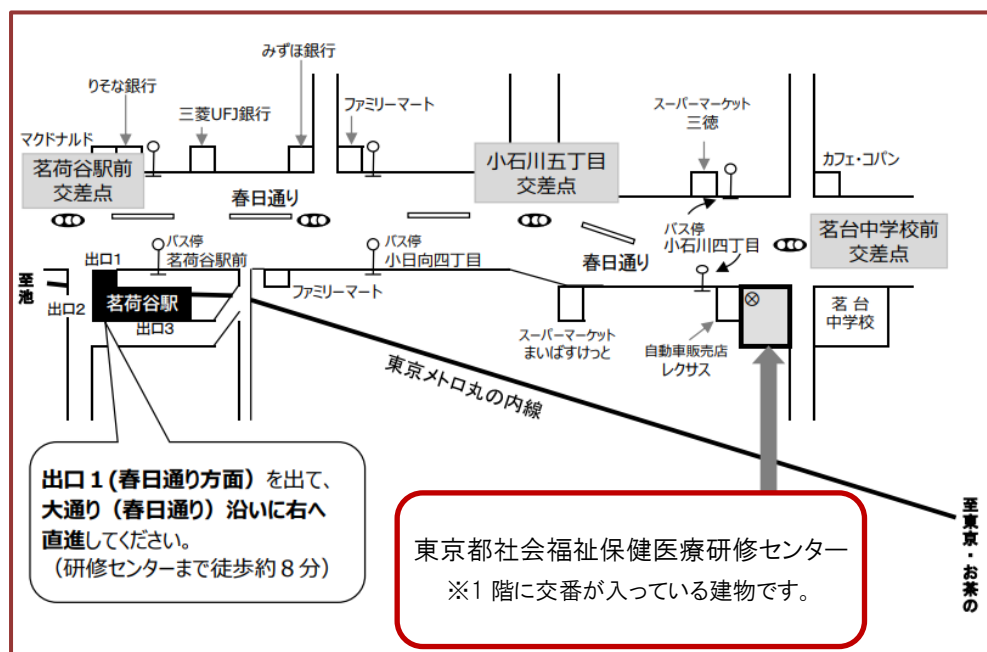
申込方法：下記URLまたはQRコードからお申込みください。

- ・研修の申し込みはLOGOフォームにて行います。受付が完了すると登録したメールに完了した旨の連絡が届きますので、必ずご確認ください。メールが届いていない場合は受付ができていません。
- ・研修会受講に際し、車いす使用のため、座席の位置やスペースに配慮が必要など、配慮事項がございましたら、申し込みフォームにてお知らせください。後日、事務局から内容の確認等のご連絡をさせていただきます。

インターネット（一般）	LGWAN
https://logoform.jp/form/tmgform/1744246	https://tb.logoform.st-japan.asp.lgwan.jp/form/tmgform/1744246
	

【注意事項】

- ・研修の録画、録音及びテキストの無断転載、無断使用は固くお断りいたします。



＜アクセス＞

東京メトロ
丸の内線
茗荷谷駅下車
徒歩約8分

※研修センターには
駐車場・駐輪場はありません。公共交通機関
をご利用ください。

※講堂内・各階ロビー
での飲食はできません。
地下1階または3階
の談話室をご利用下さい。

【事務局】

東京都心身障害者福祉センター地域支援課高次脳機能障害者支援担当
電話 03-3235-2956